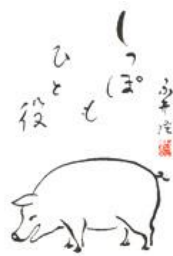




# しっぽもひと役



【学校教育目標】やさしさと思いやりで、笑顔がいっぱい  
～本物の笑顔あふれる山里小～

長崎市立山里小学校 校長 山崎直人

## 九小国研「できることを精一杯」

1月28日に開催予定だった国語の研究大会がコロナ感染拡大のために中止となったことは前回お伝えしたとおりです。その中でもできることを探り、山里小学校内ではしっかりと充実した研修を行うことができたことも紹介していました。

その後、長崎市内の学校から来校して授業をする予定だったお二人の先生方にも来ていただくことができました。紹介します。

### 大浦小 小松容紫子先生

2月4日に来校いただき、4年3組で授業を行っていただきました。小松先生が勤務されている大浦小の子供たちとお互いに学校のことを紹介し合う「学校やクラスのことを調査して伝えよう 山小4-3調査隊」という学習です。相手意識や目的意識をもって、調べたり話し合ったりまとめたりすることを通して、国語の力を身に付けることを目指します。



他の学校からやって来た先生と授業をするという体験はめったにできることではありません。最初は少し緊張気味でしたが、すぐに学びの世界に没頭し、気付いたら報告名人になる秘訣をしっかりと学び取ることができていました。本校の教員も授業を参観し、共に学ぶことができました。

### 日見小 中島和彦先生

22日には日見小から中島和彦先生に来校いただき、1年3組で授業実践をしていただきました。1年生への飛び込みでの授業はなかなか難しいものがあります。中島先生は学校では6年生の担任をされているので尚更大変だっただろうと思います。



けれど、これまでに長い時間をかけて研究を深め、日見小の1年生でも実践を積み重ねられていて、初めて出会った子供たちの心をグッとつかんで楽しい授業を展開してくださいました。「クイズ大会を開いて、思い出づくりをしよう」という単元で、お世話になった6年生に向けて学校クイズで楽しんでもらおうという学習です。ヒントを出す順番を考えることで楽しんでもらえることをペアで話し合ったり、みんなの前で紹介し合ったりして学びを深めていました。

コロナ禍はまだまだ終息の気配が見えませんが、その中でもできることはあるはずです。子供たちの学びも教職員の研修もそれは同じです。学校力を高める活動は大事にしたいと考えています。

今年度も残すところあとわずかとなりました。卒業を迎える6年生はもちろん、それぞれの学年の集大成の時間を充実して過ごします。